

聖霊降臨節第11週 歓迎礼拝

2016年7月24日 第一礼拝(午前8:00～) 歓迎礼拝(午前10:30～) 夕拝(しばらく休会とします)

第1部	プレイス アワー PRAISE HOUR (賛美の時)	※歓迎の賛美 「いのちの光」「慕い求めます」「死を打ち破り」	—	同
第2部	バイブル アワー BIBLE HOUR (みことばの時)	聖書朗読 『出エジプト記』14章1-31節(旧約119頁)	司 会 者	
		黙 想	—	同
		メッセージ 「あの逃げ水へ進め」	近 伸之牧師	
		黙 想	—	同
		※応答の賛美 新聖歌208「イエスは愛で満たす」	—	同
		感謝の献金 (新聖歌58)	—	同
		感謝の祈り	小林 洋子姉	
		諸 案 内 (来信および集会案内)	司 会 者	
		諸 報 告 (来会者紹介、報告および暗唱聖句)	司 会 者	
		※頌栄の賛美 新聖歌198「GOD BLESS YOU」	—	同
		※派遣の賛美 新聖歌54「主の祈り」	—	同
		※祝福の祈り	近 伸之牧師	
		※後 奏 (新聖歌59-6)		

フェロウシップアワー
第3部 FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)
愛 餐 会

※印の所では、お身体の不自由な方以外はご起立をお願いします。

第一礼拝	司会・説教：近 伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	献金：沼田佐代子姉
司 会	会：横堀 正美兄	音響・賛美：賛美チーム	C S 担当：片山 初子姉
集 会	会：小山 千春姉	録 音：片山 勝三兄	
映 像	像：近 伸之牧師	録 画：近 伸之牧師	掃 除：小林 洋子姉

説 教 メ モ

- この出来事は、終始一貫して、神の戦い。民は黙って、ただ見つめる。信仰には、ただ待つべき時がある。
- 待つ時と、進む時を見分けるのはみ言葉。そして行けと言われたら、橋が見えなくてもただ信じて行け。
- 恵みと恐れは共存できない。困難な現実を前に、恐れに支配されそうな時、恵みをひたすら思い起こせ。

先週のみことば

「御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます」

(『ヨハネの手紙 第一』1章7節)

今週のみことば

「恐れてはいけない。しっかり立って、きょう、あなたがたのために行われる主の救いを見なさい」

(『出エジプト記』14章13節)

個人、団体からの来信

2016年7月24日

教団より定期便／新潟聖書学園後援会より領収書／
新潟福音放送協力会より、会計報告および夏季特別献金のお願い／
しもべ会より、夏のバーベキュー交流会のお知らせ[8月28日(日)午後4時～6時半 新津教会にて開催]

先週の集会出席者数

7/17(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児1 成人男性-	
		幼児女子3 小学女子- 中学女子- 高校女子- 女児3 成人女性2	
	第一礼拝	男2 女2 計4	※月に一回、実用書道教室を開催
	第二礼拝	男8 女16 計24	7/18(月・祝) 月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児1 女児3	7/20(水) 救 禱 会 男3 女6
		※夕拝はしばらく休会としています	7/21(木) シャベリ場タビタ 男- 女4 男児1
			7/22(金) 金曜祈禱会 男- 女4

諸集会のご案内

		※月に一回、実用書道教室を開催	
7/25(月)	午後8:00	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅にて
7/27(水)	午後7:30	分かち合い『出エジプト記』13章21節～14章31節	司 会：近 ゆかり姉
7/29(金)	午後1:30	シャベリ場タビタ	渡邊智子姉宅にて
7/29(金)	夜	金曜祈禱会	教会堂

7/31(日) 聖霊降臨節第12週

第一礼拝	司 会：近 伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	
午前8:00	説 教	献 金：沼田佐代子姉	
教会学校	午前9:00	担 当：近 伸之牧師	
第二礼拝	司 会：山崎 敬典兄	映像・音響：片山 浩司兄	感謝祈禱：笹川 清子姉
午前10:30	集 会：横堀 信子姉	録 画：近 伸之牧師	掃 除：小山 千春姉
	(前奏：41)	開会：22	感謝：209
	聖書：『出エジプト記』16章1～36節		応答：233
	(献金：58)	頌栄：61	派遣：54 (後奏：59-7)
主日の予定	愛餐会		
	諸般の事情により、主日の夕拝をしばらくの間休会とします。		

報 告

- 本日の予定**
歓迎礼拝の恵みを感謝します。この後は第3部として昼食の時を持ちます。どうぞどなたでもご参加ください。午後2時からは礼拝堂において賛美練習をします。
- ひとり一人の体調のため**
風邪や疲れなどで体調を崩している方々がおられます。それぞれが健康管理に努めつつ、互いの体調のために祈りに覚えましょう。
- 夏期休暇中について**
学校が夏休みに入り、今年も敬和学園高校からの来会者が見込まれます。ひとり一人を神の家族として歓迎し、礼拝の恵みに共にあずかれるように協力しましょう。

牧師のサイン

ネパールのクリスチャンドクターとして多くの人に知られている岩村昇先生が、重症患者を何日も何日もかかって病院に運ぶ途中の出来事です。山の上に建っている病院まで器材ひとつ運ぶのも大変な労力だそうですから、ましてや重症患者を運ぶとなれば大変です。

そんな時、行きずりのネパールの青年が、その患者をずっと背負って病院に運んでくれたそうです。先生がその青年にお礼を渡そうとすると、「みんなで生きるために手伝ったのだから、お礼はいらない」と言って立ち去ったそうです。

やはり医師をされている野村実先生は、この事について次のように言っています。

わたしは、この話の中で“行きずり”というところが意味深いと思う。自分の家族や親戚、また自分の住んでいる部落の人が重病にでもなれば、骨身を惜しまず手伝うということがあるかもしれないが、ここで“行きずりの青年”とは、他の部落の人だろう。見ず知らずの他人を助けることは容易なことではない。…(中略)…問題は“みんな”というときの範囲の広さである。“四海同胞”とか“人間みな兄弟”などと言うのは易しいが、行きずりの人をすべて身内のように遇い合うかどうかである。

たいへん感動させられ、また教えられる話です。ところで、イエス・キリストの生涯はどうだったでしょうか。キリストの弟子たちは、すべて行きずりの、しかも、ある者は嫌われ者、ある者はならず者、ある者は欠点だらけの者といった具合です。

ある日、キリストは、税金取り(当時は血も涙もない守銭奴として嫌われていました)、罪人、ならず者たちと一緒に食事をされていました。すると、それを見かけた教育家、宗教家、慈善家たちは、たいへん軽蔑的なまなざしで見、さげすんだのです。そして弟子たちに言いました。「お前たちの先生は、あんな奴らと飲み食いし、楽しそうに過ごしている!」

イエス・キリストは、聖人や天使としてでなく、人として甘いも酸っぱいも経験し、行きずりのすべての人と泣き笑いの人生を歩まれた方なのです。ですからこそ、キリストは、あなたと共にいけることができるのです。

キリストは、あなたがどんな重症の傷を負った人生を歩んでいても、あなたを背負って、天のみ国まで歩んでくださる救い主なのです。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



7/30(土)「全人医療を目指して(後編)」田頭真一さん

沖縄県那覇市にある特定医療法人 葦の会「オリブ山病院」の理事長・田頭真一さんを2週にわたって紹介します。「オリブ山病院」は、キリスト教精神に基づき、患者の肉体的、精神的、社会的、さらに霊的ないやしを含めた全人医療を実践しています。精神科、内科とともに、沖縄県で最初に開設されたホスピス病棟を備え、終末期医療にも対応しています。「からだどころとたましいが一体である人に仕える医療と福祉」という理念のもと、チャプレンが在院し、病棟での礼拝や祈り会などで聖書からのメッセージを伝えるなど、たましいのケアも行っています。病院の様子を紹介するとともに、理事長の田頭真一さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

代る代る蟹来て何か言ひては去る
(富安風生)



かに ほんじん 蟹は日本人になじみの深い甲殻類。季語としては、夏の水辺で目にする小蟹のこと。
やまかに いそかに かわかに しゆるい おお 山蟹、磯蟹、川蟹と種類も多いが、鉗をかざし横走りする姿は目を楽しませる。

2016年度教会目標

「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物を与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「機会のあるあだに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

